

令和4年度 図書館課の新規事業（子ども読書活動推進関係）

(1) 古市図書館の、児童・ヤングアダルト向けサービスを重点的に実施する図書館としての運営

○古市小学校など、近隣の学校との連携

- ・小中学生へのおすすめ本の展示やリストの配布
- ・夏休みの宿題などの調べ学習を、古市図書館を活用して行えるように
- ・学校図書館で行う取り組みを、古市図書館も会場として利用してもらう

○ボランティアとの連携

- ・赤ちゃん向けや親子向けなど、様々なおはなし会やブックトークなどの開催

○子どもたちが図書館を楽しみ、使いこなせるように

- ・図書館活用術講座と子ども司書認定、子ども向けパスファインダーの作成など
- ・子どもたち自身にサポーターになってもらい、一緒に進める

○古市図書館での実践をもとに、他の館へも児童・ヤングアダルト向けサービスを広げていく

(2) 読書手帳・図書館アプリ・読書マラソンなど

○読書手帳

- ・図書館で借りた本のタイトルなどが印字されたシールを、図書館内で印刷し、貼り付けることのできる読書手帳の提供開始
- ・感想などが記載できるスペースも作る

○ウェブサイトの「My 本棚」、図書館アプリ

- ・図書館のウェブサイトのマイページ内で、自分が読んだ本や読みたい本のリスト（「My 本棚」）を作り、確認することができる
- ・利用者カードを持参しなくても、スマホなどにバーコードを表示させ、それを提示することで本を借りられるようになる
- ・スマホ用アプリが利用でき、予約などがより簡単にできるようになる

⇒図書館をより手軽に利用できるようになる

○読書マラソン

- ・自分で読書目標冊数を設定し、達成度を確認できる
- ・期間を指定した「読書マラソン大会」機能により順位を競うこともできる

(3) 多文化サービスの実施に向けた学校・学校図書館との連携

まずは学校支援の観点から、どのような言語の、どのような多文化サービスが図書館として求められているかを把握する

⇒効果的に実施できるように